

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年6月24日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103946
法人名	株式会社ショコラ
事業所名	グループホームショコラうすき
所在地	鹿児島県鹿児島市宇宿7丁目14番3号 (電話) 099-275-7075
自己評価作成日	令和2年5月12日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和2年6月12日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当グループホームは、宇宿の閑静な住宅地に立地しており、直ぐ近くには医療機関（しょこらクリニック）や商店等があり、ご利用者様にとって恵まれた環境の中にあります。ショコラグループとしては、グループホームショコラながかり、小規模多機能ホーム、共同託児所（ぶちショコラ）、かごしまショコラ保育園、しょこらクリニックの事業も行っております。同施設内に共同託児所（ぶちショコラ）が併設しており、週1回子供達との合同でのレクリエーションを行ったり、いつでも子供達との世代間でのふれあいを楽しんで頂くことにより、ご利用者様の日常生活における活力をもたらし、生き甲斐や心の充実に繋がる環境作りにも取り組んでおります。また、ご利用者様の地域の敬老会など行事への参加や、スタッフも地域のスポーツ大会への参加や地域の清掃活動への参加を通じて地域との交流も図っています。スタッフにおきましては、「今日一日が最期の日」という気持ちで、一日でも長く楽しい時間を過ごして頂ける様に、スタッフ一同、日々努力をしております。ご利用者様とご家族様との絆や関係作りを大切に、より良い時間の提供も行ってまいります。又、ご家族様に施設内での日々の生活を分かって頂く為に、日常の様子や活動参加中の様子を写真撮影し、ご家族様に閲覧して頂いたり、写真をお部屋に飾り面会の際に閲覧して頂いたり、ショコラ便り（事業所新聞）にお便りと写真を添えて毎月配布致しております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは、幹線道路から近く商業施設が立ち並ぶ利便性の良い環境に位置しており、1階には小規模多機能ホーム、2階には共同託児所が併設されている。デイサービスの利用者や託児所の子供達が来訪し日常的な交流があって、イベントや災害時の避難訓練などを合同で実施・連携するなど相互に協力関係を築いている。

年2回、家族向けのアンケート調査を実施し結果を受けて、職員のサービスの質の向上のため要望などに応えるべく運営推進会議・家族会などで報告や話し合いを行い、意見や要望などを取り入れて業務の見直しに活かしている。

理念はユニット毎にあり、出入り口や共有スペースに掲示されており朝礼では理念に基づく運営方針が掲載されている「行動手帳」を唱和している。職員は、毎月の努力目標を掲げて職務に取り組むとともに勉強会時「ショコラ経営の原点12ヶ条」を唱和して意識づけをおこない共有している。また、家族向けアンケートに理念を掲載し家族とも共有したり、入職時職員への教育や職員の自己評価にも理念の項目を設けて職員が理念を評価、ミーティングで職員全体の振り返りの機会を設けている。

献立は、管理栄養士が作成し栄養管理がされ本人、家族の安心感につながっている。誕生会は、うなぎ、ちらし寿司、焼き肉、鍋料理などのリクエストにも応じ、家庭的な雰囲気の中であつまでも美味しく食事が摂れるよう食事形態を工夫し、能力に応じたお手伝いもいただいている。毎年、利用者の誕生日には本人の行きたい場所に家族、職員が付き添って外食をしたり、馴染みの場所に出かけ思い出作りなどし、共に同じ時間を共有し一人ひとりの思いに柔軟に支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼で職場全体の理念と各ユニットで作成した理念を唱和し理念に基づく運営方針を盛り込んだ「行動手帳」も各1頁ずつ唱和し互いに意識づけあいケアにつながる理念の実践に向け取り組んでいる。理念もご利用者様やご家族様にもわかるように、入り口と共有スペースに提示している。	理念は、各ユニット毎にあり毎月目標を設定し「行動手帳」を毎朝唱和して意識づけを図っている。また、職員の自己評価表の項目にも掲げられ勉強会などで理念を振り返る機会も設けており家族の意見反映もあって職員の理念に対する意識は向上している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	中間地区の町内会に加入し、町内会の行事へは、職員だけではなく可能な限り入居者様も一緒に参加し地域住民との交流を図っている。(敬老会や清掃活動等) 向陽小学校の職場体験の受け入れや小学生から高校生までのサマーボランティアなどの受け入れも行っている。総会や協議会へも参加している。	地域の行事(夏祭り、敬老会、運動会)には、職員が付き添い利用者と一緒に参加するなど地域交流にも力を入れている。また、地域の社会資源を活用し、可能な限り地域つながることができるよう働きかけており、施設見学や介護相談を受けるなど柔軟に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の町内会の話し合い(総会、協議会)に参加したり、日常的に地域住民と交流することで、情報の提供や情報収集しやすい状況づくりに努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御家族に対して年2回のアンケート調査を実施している。(無記名での回答・返信用封筒を同封) 頂いたご意見については、運営推進会議にて話し合い、改善している。	会議への出席を家族全員に声かけし複数の参加があり、家族交流会と同日開催するなど工夫している。参加者は、多職種が集う会議になっており、医療ミニ研修会などを取り入れ家族や地域住民などが福祉や介護だけにとらわれず日常生活上役立つ知識などを職員とともに研鑽できるよう地域の一役を担っている。家族向けアンケート結果は、サービス向上や業務の見直しなどに活用されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	会合等の案内があった際は、積極的に参加している。又、ホームページ等を閲覧し、サービス向上に努めている。	地域包括支援センター職員と連携することが多く、生活保護受給者もいるため福祉事務所との協力関係を築いている。また、介護相談員の受け入れを積極的におこなないサービスの質の向上に努めたり、認知症連絡協議会からの研修案内もあり積極的に参加し、保険者や他施設職員との情報交換や連携に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束廃止の研修を行っている。研修を通して身体拘束に関する理解を深め、実践している。施設施錠に関しては、日中はしていないが、防犯上20時以降は玄関施錠を行っている。	徘徊感知機器を使用している利用者もいるが、介護計画書に位置付け担当者会議で個別ケアの必要性や代替性などについて話し合い、漫然と使用することがないよう努めている。身体拘束等適正化に向けた委員会の開催や勉強会、リスクマネジメント・事故防止についての勉強会などを定期的実施している。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	社内研修において高齢者虐待防止関連法を学び、職員全員で取り組んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修において地域福祉擁護事業や成年後見制度を学び、職員全員で取り組んでいる。ご利用様が必要な方は、それらを活用出来る様に支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い、不安や疑問点を伺い、納得をされた上で契約を進める様に留意を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日々の生活の中で、入居者様や御家族様とお話する機会を設け、自然な形で思いを引き出せる様に努めている。運営推進会議における御家族のアンケートを含め、ケアに繋げる様に努めている。	職員は、利用者や家族との面談時や日々の暮らし、行事、アンケート調査の結果（年2回実施）を受けてミーティングで話し合うようにしている。利用者は、日々の暮らしの中で意見や希望などを言葉にする場合も多く、職員は、意見などが出しやすい雰囲気作りやタイミングを図っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	年2回職員が会社を書面で評価する機会、面談を通じて意見を聞く機会を設けている。	行動手帳を活用し、上司・同僚とのやりとりの中で業務に取り組む姿勢や考え方を効率よく引き出し職員間の関係性の構築や勤務状況を把握するよう取り組んでいる。人事考課システムがあり、随時、代表者や管理者などと面談をおこない意見や提案などを聞く機会を設けている。法人全体で人事異動があり、適材適所で本人の力量が発揮できるよう職場環境などを整備している。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場へ定期的に足を運び、状況把握している。職員とのコミュニケーションも図り、給与は資格だけを考慮して決めるのではなく、職員本人の努力や、実績、勤務状況、他職員からの評価を考慮した上で決める体制にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>会社の年間計画書を基に毎月の定期勉強会や研修案内を掲示して研修参加を実践している。更にケアの質の向上を目指して、職員向けのスキルアップ勉強会を行っている。新人職員に対しては、主任・副主任が主体となって育成する体制を取っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者・職員の研修会、食事会の機会を設ける等して意見や要望を伝えたり、相談し易い環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される前に必ず見学、スタッフの訪問を行う様にしている。その中で本人様の不安や要望を良く聞き、受け止める様に努めている。又、他の介護保険サービスの説明もする様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族様にも上記同様、納得して頂いた上で更に十分な話し合いを行い、ご利用して頂ける様に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様にとって、今一番必要な援助内容・方法を考え、対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人様の好きな事、得意な事を引き出し、長年の技や知恵を教わる等、本人様を尊重しながら過ごして頂く様に配慮を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	新型コロナ感染予防の為、面会を禁止しているため、現在はご家族様には、お電話にて本人様の状況報告を行い、又、日々の様子を知って頂ける様に「ソコソコ便り」に写真を添えてのお手紙を定期的に行っている。お知らせを通して、本人様と御家族様が良い関係を保てる様に支援を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	御家族様への行事（外出レ・誕生日会）のご案内を行い、御家族様・馴染みのある方々に参加して頂ける様に提案している。ご自宅への外出の機会を設け、支援を行っている。	家族向けの行事計画書を配布し、家族などがホームに足を運びやすいよう取り組んでいる。また、利用者の誕生日の外出は、家族と職員が付き添い本人が行きたい所に出かけている。訪問内容や、訪問マッサージの方との馴染みの関係もあり、花火大会、墓参りなどは地域の方々との交流や社会との交流の機会に繋がっている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の相性や関係性等に十分な配慮を行い、心地よい空間と時間を過ごして頂ける様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了時の情報提供や、又その後も必要な方には、継続的な支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「その方らしい生き方」を中心に考え、介護者の自己満足にならないケアに努めている。	常に、本人や家族の思いに寄り合い担当職員を中心にモニタリング結果を踏まえ、アセスメントにて情報収集し職員間で話し合っている。介護計画書には、本人の言葉だったり、家族と共有した本人の思いを代弁して記載するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前に御家族様や前施設からの情報収集を行い、状況・状態を細かく把握出来る様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の朝礼時の申し送りや定期的なミーティングを行う中で、入居者様の状態（経過）を話し合い、その都度今後のより良いケアに繋げる様に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様・ご家族様の意向を重要視し、回診・訪問看護時のご相談を行い、又、担当者会議の中では、職員も意見を出し合い入居者様本位の介護計画の作成に心掛けている。	利用者、家族の希望や意向を踏まえ、利用者毎の担当者が中心になりアセスメント情報を計画作成担当者や職員と情報共有している。また、課題を分析し目標が達成できるよう利用者、家族、関係者間で話し合い、音楽カリキュラム、託児所での子供との交流活動、裁縫などを個別レクリエーションに取り入れるなど個別ケアを重視し意欲を高め利用者が本人らしくより良い暮らしを実現するために現状に即した介護計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫は、個別サービスの記録により職員間の共有が出来ている。状態の変化を継続的に見る事が出来て介護計画の見直しに繋がっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	建物内に通い、近隣には小規模多機能施設やクリニックも備えており、在宅復帰後も慣れた空間を継続的に利用出来る様にしている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	散歩などに出かけた際には、ご利用者様にも地域の方々が声をかけて下さったり、地域の方がおはら祭に出られた際は踊りを披露しに来て下さったり等、地域に開けた施設を目指している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様・ご家族様の意向を第一に、かかりつけ医の選択を行っている。受診の際は御家族様同行を基本として行っているが、必要時には、御家族様の了承のもとで職員が同行をしている。	隔週の訪問診療、オンコール体制があり24時間医療連携が図られている。毎日、リーダー職が協力医へ健康状態や生活状況に関する情報をメールで報告し情報を共有している。他科受診や緊急時の受診などは、家族に協力をもらったり、必要に応じて職員が同行している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護師が、全入居者様の状態について把握出来る様な報告を行い、個々での看護を受けられる支援を行っている。又介護職員からの相談を受け易い様な環境作りに努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	協力医療機関との連携を図り、緊急時の受け入れ体勢を整えて貰える様にしている。入院中の面会、及びソーシャルワーカーとの情報交換や相談、退院後の情報提供や相談に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合における対応については、本人様や御家族様からの希望を第一に考え、事業所内では「緊急時対応及び看取りに関する指針」に基づき方針を定めている。重度化の方に対しては、年1回の指針の説明と手続きを行う。	ホームでの看取りを希望される方が多く、事業所の体制について十分に説明しながら方針を共有して主治医や家族、関係者間で共にチーム支援ができるよう取り組んでいる。本人、家族の意向を把握するため契約時に緊急時や重度化・看取りに関する介護についての意思確認書を取り交わしている。看取り終了後は、メールや通夜の時などに振り返りをおこなうなどして次に向けて共通理解を図ったり、職員全体で看取りの勉強会をしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応を定期勉強会で行い、応急手当や初期対応についても取り組んでいる。緊急時対応のマニュアル掲示している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	非常時災害時対応を定期勉強会で行っている。年2回の消防訓練においては、様々な状況を想定しての訓練に取り組んでいる。ご近所、地域の方々とは日頃からお付き合いを大事にして緊急時には協力を得られる様に働きかけている。	消防署立会の避難訓練を年2回実施し、避難誘導には消防職員のアドバイスを参考にし、職員の意識統一を図るなどし確認を怠らないよう努めている。法人関連施設との協力関係があり、毎月、消防署主催の訓練に参加するなどして自己研鑽している。自動通報装置、スプリンクラーの設置や災害時グッズも揃え、食料備蓄もしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の一人ひとりの人権を尊重する言葉かけや対応を心掛け、行っている。	居室は、本人の希望に応じて暖簾を掛けてプライバシーに配慮したり、食事を居室で摂られる方への個別対応もあり、自己の思いを尊重した対応を心がけている。職員は、朝礼やミーティングなどで言葉使いや不適切な対応について触れ共通認識を図るとともに勉強会で接遇マナーについて学んでいる。また、業務に関する記録物については個人情報に配慮したり、ペーパーレスを推奨しておりIT活用による業務の効率化を図っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人様の希望を第一とする為に、普段から会話（対話）を心掛け、思いを引き出せる様な環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体操・個別運動・公文式等1日の流れを作りながら、入居者様のその日の状態、一人ひとりのペースで参加出来る様に支援を行い、職員本意のケにならない様に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ホームへの出張が外を利用して頂いたり、近隣の美容室を利用されたりと本人様・ご家族の意向に沿って支援している。本人様が洋服選びから自立されている方もあり、見守り行う。必要な洋服等は、御家族様へお願いし、購入して下さる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	「美味しそう」と思って頂ける様な器選び、盛り付けを心掛け、食事形態を工夫しながら、本人様ご自身で食べて頂ける様に支援している。材料の下ごしらえ、配膳・片付け等一緒に行っている。お誕生日、季節行事には特別メニューを設けている。	管理栄養士が作成した献立を参考に職員が調理し、誕生会などはリクエストに応えたり、バイキング料理、鍋料理などは利用者に好評で、季節を問わない鍋パーティ、誕生会は家族に囲まれ笑顔の絶えない会食となっている。毎年、ソーメン流しや大型商業施設での外食を楽しみに行事計画を立て本人の体調や希望に応じて食事が楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の献立は管理栄養士により加算計算されており、3食の摂取量の記録と月1回の体重測定を実施している。入居者様の嚥下状態に合わせた食事形態の工夫や、介護食品も取り入れている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを実施している。自立されている方もあるが、1日1回は職員による口腔ケア（義歯清掃）を行い、夜間は義歯洗浄剤による義歯洗浄を行っている。又必要に応じては、歯科往診を依頼している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的なトイレ案内を行い、一人ひとりの排泄パターンの把握を行い、本人様に気持ち良く排泄して頂ける様な支援をしている。毎月のパット購入にも注意を行い、パット検も随時行っている。排泄の自立されている方に対しては、見守り・確認を行っている。	トイレで排泄される方が大半であり、夜間、ポータブルトイレを併用され排泄の自立を図る方もある。尿意、便意がない方には定時で声かけしたり、誘導時はプライバシーに配慮し耳元で声かけするよう心掛けている。居室に設置したポータブルトイレには布カバーが掛けてあるなど住環境にも配慮されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便の形態や量、最終排便を記録し、排便状況を把握している。水分摂取の促しや歩行運動（散歩・階段昇降・廊下歩行）、足上げ運動の実施。トイレ案内時の腹部マッサージを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的には週3回（月・水・土）は決まっているが、その他でも本人様の希望があれば入浴は可能である。足浴・手浴・清拭も実施している。	ユニットごとに入浴日が交互に計画されているが、本人の希望や必要性に応じて入浴ができるよう配慮している。身体能力低下より、シャワー浴が増えてきているため足浴を併用したり必要に応じて、手浴や清拭などにて保清が保てるよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	年齢やその日の身体状況に応じて、臥床を行っている。お昼寝は本人様への確認の上、休息の時間を支援している。夜間は一人ひとりの入眠時間に合わせ、対応・支援を行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	調剤された薬表は、個人ファイルへ保管している。処方内容が変わった際は、その都度全職員へ申し送りを行い、又専用ファイルに薬局よりの変更内容書を添付し、随時閲覧を行い、入居者様の変化に気づける様になっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の日課となる新聞の閲覧、家事手伝いにおける食事作りの手伝い・盛り付け・片付け、洗濯物たたみ、掃除等、それぞれ役割を持って頂く為の支援を行っている。園芸や壁面飾り作成も趣味を活かして、興味を持って頂ける様に支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日等には、気分転換・体力作りを兼ねて一緒に近隣散歩へ出かけている。外出の計画では、御家族様も一緒に参加して頂き、錦江湾公園・慈眼寺公園等の遠方への外出の支援を行っている。今は新型コロナ感染予防の為、自粛しています。	毎年、行事計画を作成し、初詣、町内会の夏祭り、春、秋の外出では花見や動物園に行ったり、春の踊り会、敬老会、クリスマス会は、小規模多機能ホーム利用者、家族、同法人のグループホームの利用者、職員と合同で楽しんでいる。毎年、バースディプレゼントとして利用者の行きたい場所に家族、職員が連れ添って外出しているが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため外出は近隣の散歩やレクリエーション活動などを充実させ気分転換が図れるよう取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居者様の希望も強くあり、ご家族様との話し合いを行い、力量を踏まえ一定の金額を所持・本人様に管理して頂く支援を行っている。本人様の希望があった際は、職員が同行を行い、近隣へ買い物へ出かけ、支払いの見守り・支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>贈り物があった際に本人様が、お電話出来る様に支援を行い、季節のお便り（暑中見舞い・年賀状）を書く機会を設けている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>プラパシーに配慮する事は勿論、壁面の飾り付けやお花を飾ったりして、利用者様に季節を感じて貰える様にしている。刺激臭のある洗剤（ハイター）等は、夜間の人気の無い時間帯を選び最低限量を使用している。洗い物の際の不快音（茶碗類のぶつかる音等）をたてない様に心掛けている。トイレ内の清潔を保つ為に、床のゴミ拾いなど汚染時はその都度掃除を行っている。</p>	<p>1階・2階とユニットが分かれており、2階は、共同託児所が設置され利用者とは日常的に交流している。対面キッチンがあり、テーブルでは食事の下ごしらえをお手伝いされる方、ソファに座りテレビを観たり庭の花々を眺める方がおられ思い思いにのんびりと過ごせるよう配慮されている。壁面には、季節の生花や行事などを感じてもらえるよう折り紙などで装飾がされている。また、空気清浄機を設置したり小まめに換気するなどして感染症予防を意識したケアを心がけている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりの方のお好きな場所で和気あいあいと過ごして頂ける様に、支援を行っている。テーブル席であったり、ソファであったり、その日の気分で自由に過ごして頂ける様な支援を心掛けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様のご自宅で使用されていた馴染みの家具や装飾品を居室に配置して、本人様が居心地良く過ごせる様に支援を行っている。又ご希望があれば、畳敷きの部屋に工夫する事も出来る。	居室引き戸は開いているが、のれんが掛けてあり、プライバシーに配慮されている。備え付けの洗面台やロッカーなどがあるが、大半は使い慣れた品を持ち込み居心地よく過ごせるよう工夫している。本人の身体機能を考慮し、ベッドの位置に配慮したり、必要に応じて畳様式で生活していただけるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	「安全で使い易い」を念頭に置いて、トイレや浴室内等に手摺を付けている。動線には物を置かず、安全に歩行が出来る様に支援を行っている。各居室の入り口にヘルプボードを掛け、確認して頂ける様に支援を行っている。わかり易い大きな文字で「トイレ」と表示を行っている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない